

## 令和2年度第4回柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<b>【部会名】</b> 相談支援部会	<b>【部会長】</b> 地域生活相談センター シヤル 関口 篤行
<p>1. 相談支援部会</p> <p>(1) 第4回相談支援部会(1月6日開催)</p> <p>① 報告</p> <p>(ア) 計画相談実務者ワーキングチーム</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 辞任した委員の後任候補、次期ノーマライゼーションかしわプラン(案)について意見交換を行った。今後は事例検討を通じ訪問看護や薬局等の医療関係者や各分野との繋がりについても構築できるよう運営していく。</li></ul> <p>(イ) 相談支援の地区割について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1月に開所予定の福祉総合相談窓口について、続けて各地域生活支援拠点が担当する地区割について市から説明を受け、意見交換を行った。市民にとって分かり易いよう、周知について市と地域生活支援拠点で検討する。</li></ul> <p>② 議題</p> <p>(ア) 相談支援連絡会について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 令和3年1月に開催予定の相談支援連絡会はオンラインにて実施</li><li>・ 各地域生活支援拠点が主催する地区別研修は、連絡会と拠点が協力して実施</li><li>・ 研修内容は相談員のアセスメント力の向上の他、(相談支援専門員の所属が)1人の事業所や新規事業所の困りごと等も取り上げる。</li></ul> <p>(イ) 次期ノーマライゼーションかしわプラン(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 市から進捗について報告を受けた。</li><li>・ 大きな修正が可能なのはパブリックコメントまでであることを踏まえ、福祉総合相談窓口の案内や全体的に各所の表記について修正の申し入れた。</li></ul> <p>(2) 第5回相談支援部会(1月22日開催)</p> <p>① 報告</p> <p>(ア) 計画相談実務者ワーキングチーム</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ コロナ禍の影響により今年度は1回の開催となった。</li><li>・ 来年度については未定。相談支援部会、相談支援連絡会の動向に合わせ検討</li></ul> <p>② 議事</p> <p>(ア) 相談支援における連絡体制</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ こども部会事業担当者会議からの要請を受け、感染疑い者等が出た際の連絡体制について現在の柏市での対応の説明を受けた後、意見交換を行った。</li><li>・ 感染者等の情報を得た事業所が、スムーズに市と情報共有できるようメール等</li></ul>	

で周知の検討をいただく。

(イ) 支給決定基準について

- ・グループホーム入居者の平日の移動支援の利用、非定型理由書の提出期限について意見交換を行った。
- ・それぞれ市で検討中であり、方針が分かり次第部会で共有されることとなった。
- ・当該検討事項について利用者やサービス提供事業者等に配慮し、柔軟な対応を申し入れた。

(ウ) その他

- ・グループホームにおける居宅系サービスの利用について、経過措置後の市の対応について市に質問があった。本件は国から通知が届き次第の対応との回答
- ・本日の議論を踏まえ、日中一時支援における平日の余暇利用について、精神障害者を対象とした身体介護での家事の共同実践について、支給量が超過している身体介護利用者が重度訪問介護へ移行することについて意見交換を後日機会を設けて行う。

(エ) 令和3年度の運営について

- ・相談支援部会は4月、6月、8月、10月、12月、1月に行う。
- ・実施はコロナ情勢に応じリモートも活用しながら運営する。
- ・次期ノーマライゼーションかしわプランの施行を受け、相談支援部会として取り組む内容について検討する。福祉総合相談窓口については今後も情報共有する。

(オ) 令和3年度相談支援連絡会について

- ・令和3年度の相談支援連絡会は4月、8月、11月、2月に開催する。
- ・年間を通してテーマは、チームアプローチやアセスメント力の向上に取り組む。
- ・コロナ情勢をふまえリモート開催を検討するが、ソフトウェアの使い方やICT導入補助の活用（とその説明）等、参加が難しい方にも配慮して開催
- ・第1回の連絡会は報酬改定や支給決定基準の変更点について市から説明を受け、意見交換を行う。

2. 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

(1) 第3回実務者会議(令和2年11月25日開催)

- ・グループごとに集まり、今年度取り組むべき課題に対する具体的施策について、引き続き協議。代表者会議に向け、報告内容を検討

(2) 第4回実務者会議(令和3年1月13日開催)

- ・コロナウイルス感染拡大を受けZoom開催とした。初めに各ワーキンググループが作成した報告資料について確認、意見交換を行い、その後、Zoomで各ワーキンググループに分かれ資料の修正箇所について検討

(3) 今年度の取り組み

- ・第1グループ(普及啓発)「教育機関にむけての障害理解の促進」  
 動画やパンフレットを作成する  
 目的 : 心の病気や不調に関する知って欲しいことを伝え、認知してもらう。  
 対象者 : 小中学生、親、教育機関関係者  
 内容 : 授業で活用できる短めの動画等を作成する。アプローチの仕方等詳細については来年度検討
  
- ・第2グループ(医療)「利用者の病状管理の方法について」  
 医療連携シートの作成を行う。  
 目的 : ①当事者の地域生活の安定  
           ②緊急時の地域と病院とのスムーズな連携  
 対象者 : ①精神科病院に初回入院された方  
           ②入院形態が措置や医療保護入院の方  
           ③本人の同意がとれた方  
 内容 : 個人情報や関係機関を記載した「自己紹介シート」(表面)と、病状悪化のサインと対処方法等を記載した「SOSプラン」(裏面)の2つから構成
  
- ・第3グループ(障害福祉)「支援方法の統一化及び支援者の不安軽減を図る」  
 情報共有シートの作成を行う。  
 目的 : ①本人の状態像の把握  
           ②支援の目的及び支援方法の共通認識  
 対象者 : ①地域で支援を受けて暮らす人  
           ②複数の関係機関が関わっている人  
 内容 : 主訴、疾患名と病状、支援の目標と目的、本人の自己理解度、支援者側の見立て、本人を取り巻く関係者の相関図、日々の状態からタイムリーな情報を盛り込む。

**【今後の活動予定】**

1. 相談支援部会      第1回:令和3年4月23日
2. 相談支援連絡会    第1回:令和3年4月 日時未定
3. ワーキングチーム    第1回:未定
4. 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 : 2ヶ月に1度開催。

<b>【部会名】</b> はたらく部会	<b>【部会長】</b> かるのこ 室山 圭史
<p>1. はたらく部会</p> <p>(1) 第3回(令和3年1月7日)</p> <p>ア 次期ノーマライゼーションかしわプラン(案)柱3について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育福祉会館での就労支援に関する窓口については、利用希望者に情報が行き届くよう、部会等で各事業所や当事者、学校関係へ周知していく。</li> <li>・次期プランの内容から外れることが無いように、連携や研修等の具体的なきっかけづくりを部会等で協議して提案し、実行していく。</li> <li>・多様な障害者の支援においてジョブコーチは有効との意見があり、活用方法の検討、教育機関や各事業所への周知を行う。</li> </ul> <p>イ 来年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉的就労連絡会には「障害者等社会参加コーディネート事業受託者」、一般就労連絡会には「障害者等社会参加・就労支援業務受託者」にご参加いただく。</li> <li>・各連絡会で課題を整理し、研修会や販売機会確保等の具体的な解決策について部会で協議し、市や社会福祉協議会、教育福祉会館に関わる各事業や各機関等と連携しながら、次期プランを具現化していく。</li> </ul> <p>ウ 企業向け研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年2月19日(金)、障害者雇用に興味関心のある企業を対象に、松戸市と合同で研修会を実施予定。テーマは「テレワークの導入」。</li> </ul> <p>2. 一般就労連絡会</p> <p>(1) 第1回(令和2年12月9日)</p> <p>ア 各事業所の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における定着支援については、早急に支援が必要な方に限定した形や、オンライン・電話等で支援を実施している事業所が多くみられた。在宅勤務の利用者が増え、対人トラブルは減少。仕事の時間管理、環境変化、孤独感、会社の経営悪化による不安等の相談は増加。学校では例年に比べて充実した進路支援が行えていない。</li> <li>・幅広い年代や障害に対する就労支援としては、他県の繋ぎ先が少ないことや、高齢の方の雇用の難しさ等について情報提供があった。シルバー雇用などの情報収集が必要。ほか、不登校の子がいる保護者から相談が増加。</li> </ul> <p>イ 支援の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、新人職員が企業との連携を経験する機会が減少。新人の育成方法は時代とともに変化しており、育成には工夫が必要。学校では、教員の高齢化により若い教員が抱える業務量が増え、時間的にも十分な支援スキルの引継ぎが難しいとの意見が上がった。企業が感じている障害者雇用に対する疑問点も把握したい。</li> <li>・支援の視点や幅が広がるように他事業所で体験できる体制を構築し、若手</li> </ul>	

が参加しやすい環境や内容で、基本的な支援の研修を市や拠点で開催していただきたい。

ウ 来年度に向けて

- ・コロナ禍における支援、幅広い年代や障害に対する就労支援について市や事業所と連絡会等を通して情報共有をしていく。新型コロナウイルスの状況を勘案しながら、職員の他事業所体験や研修会の開催について検討

### 3. 福祉的就労連絡会

(1) 第1回(令和2年12月9日)

ア 販売機会について

- ・地域活動館を活用し、事業所の製品販売や受注受付場所設置など、小規模なものづくりマルシェのような取組みを社会福祉協議会等と連携し検討。

イ 各事業所の現状と課題

- ・コロナ禍の影響について、施設外での販売機会・受注の減少により、収入や利用者への作業提供が困難となっている。コロナへの不安から利用を控える利用者もいることや、通常業務に感染対策が加わり職員が疲弊。また、一般就労の求人が減少し、福祉サービスの利用希望者が増加。学校では、企業実習が出来ず進路変更する生徒もいた。保護者説明会等が減少し、文書説明での保護者の理解や行動に差が見受けられているとの意見が上がった。
- ・幅広い年代や障害に対する就労支援について、年齢で解雇できないこととなっているが、業務内容によっては継続が難しい場合もある。障害者手帳未所持者や退院者、生活保護受給者で就労意欲の無い方などがいるとの意見があった。

ウ 事業所による連携・協力

- ・他事業所から下請けの仕事を受けている事業所はあるが、コラボ商品は無い。例えば、お弁当に使用する野菜や箸の購入を他事業所と連携して行う等の意見が上がった。また一般の方にも受け入れてもらえるような製品づくりが必要。

エ 来年度に向けて

- ・コロナ禍の状況や事業所同士で助け合えることについて、連絡会等で情報共有していく。販売機会減少に対する1つの取組みとして、社会福祉協議会と障害福祉課を中心に検討されている地域活動館での販売について、連携方法を引き続き協議していく。

#### 【今後の活動予定】

今年度の開催は終了。

来年度については、部会、連絡会ともに年3回ずつの開催予定。



- ・教育を受ける権利を守るための通学支援やライフステージにあった地域生活支援事業の体制構築を求める。
- ・医療的ケア児が学区変更に伴い、松戸特別支援学校と野田特別支援学校へ分けられるが、通学時間の負担を考慮し、柏市においての受け入れ体制構築を求める。
- ・福祉総合相談窓口には柔軟な受付時間やメール対応などの配慮を求める。
- ・教育と福祉の連携が取りやすく、連携体制を構築するにも保育所等訪問支援の制度改正を求める。

### 3. 早期支援担当者会議

- ・今年度新型コロナウイルス感染症の影響で会議は開催出来ていない。

### 4. 児童発達支援連絡会 保育所等訪問支援分科会(1月15日開催)

#### (1) 事例検討

- ・報酬に関する意見、要望として、関係者会議に出席した際に利用料の請求又は加算をつけられるよう求める。
- ・幼稚園や保育園以外の場所で、情報の共有を図るために他事業所での様子を観察、訓練の場面に立ち会って医師から話を聞く等した際に請求又は加算をつけられるよう求める。
- ・各事業所で保育所等訪問支援事業の実施方法が異なるため、関係事業所との連携にあたり、ガイドラインの作成が必要であるとの意見があり、次年度分科会を定期的で開催し、ガイドラインの作成を検討していく。

#### 【今後の活動予定】

##### 1. 早期支援担当者会議

- ・1月27日 書面開催予定

その他部会、連絡会等は今年度の活動は終了した。

【部会名】 暮らし部会

【部会長】 社会福祉法人 彩会  
平山 隆

## 1. 暮らし部会

### (1) 第4回暮らし部会(令和2年12月25日開催)

#### ア 今年度の部会での課題整理、自立支援協議会への提案

グループホーム等支援ワーカー、感染症防止対策、グループホーム利用者の平日の移動支援利用、居宅支援事業の収入減少などが課題としてあがった。グループホーム利用者の平日の移動支援利用については、支給決定基準が決まり次第、相談支援部会や暮らし部会、当事者団体等の関係機関へ周知をしていく。支給決定基準についてお互いに気づいていない部分があることも課題。

#### イ 来年度の部会、連絡会について

グループホーム等支援ワーカーの役割について、本人支援と支援者支援の区別、第三者的な立場での支援、他機関の役割と混同しないなどの意見があがった。今年度暮らし部会で出た意見をもとに、実施に向けて具体的な役割、体制、担い手等について、自立支援協議会全体会、拠点運営協議会、行政と検討を深める。

感染症防止対策及び災害対策について、利用者が感染疑い者等となった場合に受け入れ先が少ないという意見があがった。生活用品の配達等の支援について家族や居宅支援事業所に限らず、通所先、知人や友人等も含めて協力体制を構築することや家庭内感染を防ぐために、個室で対応できるような環境設定を提案していく。また、感染症に対する悩みや対策を部会等で共有していく。

コロナ禍における職員のメンタルケアや引きこもり等の在宅支援についての具体的な取り組み方法について来年度の暮らし部会で意見交換をしていく。

## 2. 居宅支援連絡会

### (1) 第1回居宅支援連絡会(令和2年11月30日開催)

#### ア 感染症防止対策及び災害対策について

各事業所の感染症防止対策や対応について情報共有をした。居宅支援事業等の収入減、PCR検査体制、感染疑い者が出た場合の対応について悩んでいる事業所が多かった。新型コロナウイルス感染症への長期対応が見込まれる中、閉鎖となる事業所が出ないような補償を市へ強く要望する。

#### 【今後の活動予定】

※今年度の暮らし部会、居宅支援連絡会、グループホーム等連絡会は全て終了。

○暮らし部会 来年度3回開催予定

○居宅支援連絡会 来年度1回開催予定

○グループホーム等連絡会 来年度1回開催予定



<b>【連携機関名】</b> 柏市障害者差別解消支援地域協議会	<b>【事務局担当】</b> 障害福祉課 針替
<p>1 開催報告</p> <p>(1) 第1回柏市障害者差別解消支援地域協議会          (6月19日書面による開催)          テーマ(第1回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議と共通)          ア 新型コロナウイルス感染症に対する貴団体の対応や課題について          イ 新型コロナウイルス感染症対策下における、差別や虐待を含む権利擁護に関する事案について</p> <p>(2) 第2回柏市障害者差別解消支援地域協議会          (11月18日対面及びWEB開催)          テーマ          ア 令和2年度障害者差別相談受付状況について          イ 第1回柏市障害者差別解消支援地域協議会アンケート結果について          ウ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う障害者差別に関する懸念事項について</p> <p>(3) 第3回柏市障害者差別解消支援地域協議会(令和3年1月29日開催予定)</p> <p>2 トピックス</p> <p>(1) 令和3年度の柏市障害者差別解消支援地域協議会の運営について</p> <p>(2) 中核機関の運用について</p>	
<b>【今後の活動予定】</b> 今年度は第3回の開催で終了となる。	

<b>【連携機関名】</b> 柏市障害者権利擁護ネットワーク会議	<b>【事務局担当】</b> 障害福祉課 針替
<p>1 開催報告</p> <p>(1) 第1回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議          (6月19日書面による開催)          テーマ (第1回柏市障害者差別解消支援地域協議会と共通)          ア 新型コロナウイルス感染症に対する貴団体の対応や課題について          イ 新型コロナウイルス感染症対策下における、差別や虐待を含む権利擁護に関する事案について</p> <p>(2) 第2回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議          (11月18日対面及びWEB開催)          テーマ          ア 令和2年度障害者虐待の通報・届出の受付状況について          イ 中核機関について          ウ 次年度の権利擁護ネットワーク会議について          エ 第2回障害者権利擁護研修会について          オ ノーマライゼーションかしわプランについて</p> <p>(3) 第3回柏市権利擁護ネットワーク会議 (令和3年1月29日開催予定)</p> <p>2 トピックス</p> <p>(1) 令和3年度の柏市権利擁護ネットワーク会議の運営について          (2) 中核機関の運用について</p>	
<b>【今後の活動予定】</b> 今年度は第3回の開催で終了となる。	

【連携機関名】 柏市医療的ケア児等支援連絡会	【事務局担当】 社会福祉法人ぶるーむ
<p>1) 第3回 コアメンバー会議（12月24日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第3回連絡会の開催方法について <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒Zoomでの開催を予定</li> </ul> </li> </ul> <p>2) 要望書について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 連絡会から柏市障害福祉課に提出した要望書の内容について意見交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・通学支援について <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒移動支援の活用を軸に検討中</li> </ul> </li> <li>・医ケア児の保育園・幼稚園受け入れについて <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒・連絡会でこういった話があがっているということ障害福祉課から保育運営課に伝えるだけでなく、障がいのある子どもたちの生活をサポートする障害福祉課の主体的な意見として、保育園受け入れの現状をどう捉えていて、どうしていきたいと考えているのかを意見を述べてほしい。</li> <li>・この連絡会だけの話にとどまらず、子ども部会等関係機関にも広げていきたい。</li> </ul> </li> <li>・「歩ける医ケア児」等へのサービス支給基準について <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒国の制度改正の結果を待つ</li> </ul> </li> <li>・高校卒業後の通所等社会資源の不足について <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒・施設整備などを約束することはできないが、指定申請に来る事業所があれば柏市としてもできる限り支援したい考え。</li> <li>・青和園改築などがある際には、車いすの受け入れが可能な建物にするなど検討する。</li> <li>・重度の方を受け入れられる生活介護/GHなどの誘致、支援は積極的に行っていく。施設整備補助金を活用しての既存施設の改築などを進めていくことも検討したい。</li> </ul> </li> <li>・災害対策について <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒・非常用発電設備については、各施設での整備を今年度、来年度進めている。</li> <li>・個人宅での電源設備の助成よりは、施設での整備を進め、各施設へ行って充電してもらうことの方が現実的で効率的と考えている。</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>3) 第3回 連絡会全体会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2021年2月4日（木）14：00～ Zoomにて開催予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実数調査の進捗状況について</li> <li>・コア会議報告</li> <li>・来年度の活動方針について</li> </ul> </li> </ul>	

**【今後の活動予定】**

2021年2月14日 13:30～16:00

勉強会「地域で支える医ケア児の育ち」オンライン開催

- ・基礎講座「医療的ケアって大変なことなの？」

講師：地域ケアさぽーと研究所 下川 和洋 先生

- ・シンポジウム「保育園・学校に行きたいと願った子ども達」

シンポジスト：青木 鈴花 さん、重實 カンナ さん

**【連携機関名】**

柏市地域生活支援拠点運営協議会

第2回柏市地域生活支援拠点運営協議会に付いて、令和3年1月15日（金）10:00～12:00でZOOM会議を予定していたが、コロナ禍の中柏市地域生活支援拠点運営協議会として、決定事項がない事、早急に解決しなければいけない課題などがない事等から、開催を中止とした。

**【今後の活動予定】**

- ・令和3年度は、通常通り年3回の開催を予定している。